

平成29年度医療分野の研究開発関連予算の概算要求について

〔平成28年8月31日
健康・医療戦略推進本部決定〕

平成29年度医療分野の研究開発関連予算の概算要求について、平成29年度 医療分野の研究開発関連予算等の資源配分方針（平成28年7月29日健康・医療戦略推進本部決定）等に基づき、総合的な予算要求配分調整を行った結果、以下のとおり決定する。

○平成29年度医療分野の研究開発関連予算の概算要求

健康・医療戦略推進本部の下で各府省が連携し、医療分野の研究開発を政府一体で推進し、健康・医療戦略（平成26年7月22日閣議決定）及び医療分野研究開発推進計画（平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定）の実現を図る。

	平成29年度			平成28年度
		要求	要望	
日本医療研究開発機構 (AMED) 対象経費	1,528億円 (文720、厚573、経231等)	1,164億円 (文553、厚443、経168)	364億円 (文167、厚130、経63等)	1,265億円 (文599、厚478、経185等)
インハウス研究機 関経費	844億円 (文285、厚470、経88)	743億円 (文219、厚437、経88)	101億円 (文67、厚34、経-)	734億円 (文214、厚430、経90)

文：文部科学省、厚：厚生労働省、経：経済産業省

➤ 上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費（平成29年度概算要求額500億円）」の一部を医療分野の研究開発関連の調整費として充当。

○主な取組

1. 医薬品・医療機器開発への取組

①オールジャパンでの医薬品創出

321億円＜AMED246億円、インハウス74億円＞
革新的医薬品創出に向けた研究開発の充実を図るとともに、

創薬ターゲットの同定等に係る研究等を推進する。

- －画期的なシーズの創出・育成に向けた研究開発の推進
- －創薬支援ネットワークの支援機能の強化
- －疾患登録情報を活用した臨床開発インフラの整備

②オールジャパンでの医療機器開発

183億円<AMED>（一部再掲）

新たに競争力を有した世界最先端の革新的医療機器の開発・事業化を推進するとともに、医療機器開発の企業人材育成等も着実に推進する。

- －ものづくり力を結集した日本発の優れた医療機器等の開発・事業化の推進
- －臨床現場における実践的な人材の育成

2. 臨床研究・治験への取組

・革新的医療技術創出拠点プロジェクト

116億円<AMED>

医療法に基づく臨床研究中核病院を積極的に活用し、革新的な医薬品等の開発を推進する。その他の革新的医療技術創出拠点においても、シーズ開発を更に推進する。

- －臨床研究・実用化へ橋渡しができる拠点の整備
- －臨床研究計画の作成等を支援する生物統計家及び臨床研究を実施する医師の育成
- －ARO (Academic Research Organization) の客観的な評価の公開による更なる活用の推進
- －中央治験審査委員会・中央臨床研究倫理審査委員会の基盤整備を推進

3. 世界最先端の医療の実現に向けた取組

①再生医療の実現化ハイウェイ構想

168億円<AMED>（一部再掲）

安全性確保に向けた研究開発、臨床研究・治験の活性化、臨床品質の細胞ストックの整備等を実施し、企業等による製品化を支援し、実用化を促進する。

- －臨床研究段階への移行（対象疾患例：角膜上皮疾患、心不全、脊髄損傷）

－細胞製造技術開発など実用化に向けた産業基盤整備

②疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト

133億円＜AMED109億円、インハウス24億円＞

ゲノム医療実現推進協議会中間とりまとめに基づいた取組を推進する。

- －既存のバイオバンク等を研究基盤・連携のハブとして再構築、目標設定型先端ゲノム研究開発の推進
- －臨床ゲノム情報統合データベースの管理運営
- －ゲノム情報を活用した新規創薬ターゲットの探索
- －臨床ゲノム情報を実際の診断で活用するための診断基盤整備

4. 疾病領域ごとの取組

①ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト

180億円＜AMED＞（一部再掲）

医療分野研究開発推進計画の下、「がん研究10か年戦略」に基づき、患者や社会のニーズに合ったがん研究を推進する。

- －アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤の開発
- －ライフステージやがんの特性に着目した重点研究の推進
- －患者に優しい新規医療技術開発の推進
- －がんの予防法や早期発見手法に関する研究の推進

②脳とこころの健康大国実現プロジェクト

111億円＜AMED＞（一部再掲）

精神・神経疾患等の克服に向けた取組を加速する。認知症や依存症等の対策として新たな研究開発を開始する。

- －臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服
- －霊長類の高次脳機能を担う神経回路のニューロンレベルでの全容解明
- －認知症のメカニズム解明と診断・治療法等の開発
- －精神医療の診療方法の標準化及び依存症対策等の推進

③新興・再興感染症制御プロジェクト

108億円＜AMED89億円、インハウス18億円＞（一部再掲）

エボラ出血熱等の一類感染症等に関する研究を含む新たな診断薬、治療薬及びワクチンの開発等に資する研究を推進す

る。

- －インフルエンザ
- －デング熱
- －薬剤耐性菌
- －下痢症感染症
- －エボラ出血熱等の国際的に脅威となる感染症

④難病克服プロジェクト

158億円<AMED>（一部再掲）

医師主導治験及び治験移行を目的とした非臨床試験を推進する。疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明等に係る研究開発を一層推進する。

- －未診断疾患を切り口とした新規原因遺伝子の同定、新規疾患概念の確立
- －疾患特異的iPS細胞を用いた難病の病態解明研究

なお、予算編成過程において、要求・要望内容が変更される可能性があること等に留意することが必要である。